

11月8日には月が地球の影に入って欠けて見える皆既月食が観察できますね。観察するだけでもとても良い体験ですが、せっかくでしたら、紙と鉛筆などを使って、月食の様子をスケッチしてみてもいいでしょうか。安全に気を付けて観察しましょう

悪天候のときには、各地のライブ配信を見るのもよいですね。  
 国立天文台のライブ配信 <https://www.nao.ac.jp/news/events/2022/20221014-live.html>

## 皆既月食と火星最接近、 ふたご座流星群も

11月8日の夜、日本全国で皆既月食が見られる。月が高い位置にある時刻に起こるので観察しやすい。このとき、月が天王星をかく天王星食が見られる。双眼鏡や望遠鏡で観察してみよう。

12月1日には、火星が地球に最接近し、マイナス2等くらいの明るさで見える。12月13・14日は、ふたご座流星群が活発に。深夜に月のぼる前の観察がおすすめだ。

天王星食のイラストは、天の北極を上になっています。

20 協力:国立天文台天文情報センター イラスト:渡辺潔

こくりつてんもんだい てんもんじょうほう  
 国立天文台の天文情報ページ「ほしぞら情報」

あなたの観測する場所の東はどんな景色ですか。上の図に、描いた絵を貼り付けてみてはどうでしょうか。

団員の皆さんにお送りしているソラトビ手帳の裏表紙には、高度の目安になる表がありますね。



地球の影はどんな形かな？  
 影の部分の月の色は何色かな？  
 なぜその色になるのだろう？  
 たくさん不思議を見つけて考えてみましょう。



JAXA宇宙教育センターと日本宇宙少年団で作る「宇宙のとびら61号 20ページ」より